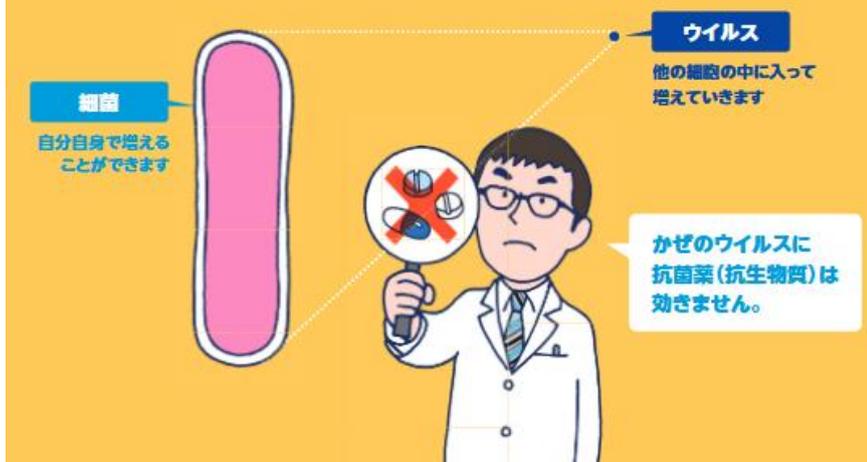


## 「風邪をひいたら抗菌薬」というわけではありません！

抗菌薬(抗生物質)は、細菌をやっつける薬です。ほとんどの「かぜ」の原因であるウイルスには効果がありません。



細菌もウイルスもとても小さな生物です。細菌はウイルスの100~1000倍の大きさで、自分でエネルギーを作ります。ウイルスは自分でエネルギーを作り出せないなので、他の生物を利用して増えていきます。

ほとんどの風邪の原因はウイルスです。抗菌薬は効果がありません。

抗菌薬は、細菌が増えるのを抑えたり、壊したりする薬であり、感染症治療での要です。抗菌薬の効かない菌が増えると感染症の治療がうまくいかなくなります。

現在、抗菌薬が効かない薬剤耐性の感染症の拡がり方が世界的な問題になっています。年間約70万人が死亡しています。新薬の開発は限られているため、現在使用出来る抗菌薬を大切にする必要があります。

そのためには、**抗菌薬を正しく使うこと(服用すること)が大切です！**

## もし、クスリが効かなくなったら!?



抗菌薬の効かない菌(薬剤耐性菌)が増えると、これまで抗菌薬を飲めば治っていた感染症が治りにくくなったり、他の病気の治療に影響したりします。

現在、世界で薬剤耐性により年間約70万人が死亡しています。何も対策を取らなければ、2050年には約1,000万人が死亡すると言われており、世界的な問題となっています。

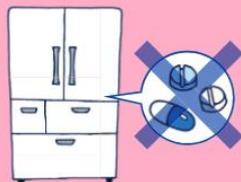


## ～抗菌薬治療を受ける患者さまへ～

抗菌薬を  
正しく理解して、  
正しく飲むことが  
大切です。



抗菌薬は医師の指示通り  
飲み切りましょう



抗菌薬を  
とっておかない



抗菌薬をもらうには  
医師の処方箋が必要です



抗菌薬をあげたり、もらったりしない



わからないことは医師や薬剤師に聞きましょう

## ～入院患者様の抗菌薬の適正使用に向けて～

**そこで、AST(抗菌薬適正使用支援チーム)の登場です！！**

当院では抗菌薬適正使用支援チームを2018年4月に発足し、患者様へのより適切な感染症治療をチームで支援しています。

薬剤師は、チームの中核となりながら、薬剤耐性を防ぐために、適正な抗菌薬の選び方、より効果的な使用方法など、感染症治療に関する薬剤情報提供を医師へおこない、感染症治療に取り組んでいます。

